

# 野の花だより

## 障がい者卓球大会

2月14日にリハビリセンターで障がい者卓球大会がありました。継続B型からは、小西さん、三徳さん、濱窪さん、山下さん、山本さん、野の花OBの林さん、山元さん、横濱さんが参加されました。みなさん日頃の練習の成果を発揮し、真剣な表情で試合に臨んでいました。得点すると「よっしゃー」と声を出し気合を入れたり、ガッツポーズを取ったり、思いおもいに気持ちを表現されていました。



優勝・準優勝

おめでとう!!

そして、三徳さん、山下さん、山本さん、山元さんの4名が決勝トーナメントへ進みました。なんと決勝戦では、三徳-山下両名による野の花対決となりました。お互いに練習仲間であり、手の内を知り尽くしているせいか練習をしている様にも見えましたが、他の利用者さんと共に二人を応援しました。結果、三徳さんが優勝しました。おめでとう！負けたとはいえ他の利用者さん達もよくがんばりました！



## アビリンピック

みなさんアビリンピック（全国障害者技能競技大会）をご存知ですか？

この技能競技大会の縫製部門に猪井美龍さんが参加しました。課題はエプロン制作。決められた時間（150分）で裁断されているエプロンを形に仕上げていきます。肩ひもや、腰ひも、ポケットの付け方など細かく決められた内容を次々にこなしていきます。この日の為にこの課題と同じエプロンを施設でも10着以上作成し、本番に挑みました。大会当日、特に緊張した様子も無く、リラックスした状態で時間内に作業を終え結果を待ちました。本人が目指していたのは、金賞を獲り全国大会に出場すること。結果は残念ながら銀賞…。今回の参加で更なる課題が見つかり、気持ちは来年に向かっていきます。日頃培った技能を互いに競い合うことにより、職業能力の向上を図ることを目的にしているアビリンピック。これからも本人の持っている力を発揮できるようにサポートしていきます。



## リレーオピニオン

赤松 輝

私は野の花で仕事をさせてもらうようになるまで、障がいを持たれている方と接することがほとんどありませんでした。その為、自分は今まで「色眼鏡をかけていない自分」という色眼鏡をかけていたのだな。と最近良く思えるようになり、自分の小ささに気付かされた部分があります。

私はいつもパン工房でメンバーさんたちと作業を行っており、作業の割り振りなども担当しています。その為「この作業は彼には難しいのでは？」や「一度失敗してしまった作業をもう一度頼んでもいいものか？」「作業を重視するあまり、メンバーさんのストレスになっていたりしないか？」など自分の考えに傾倒するあまり、どうしても必要以上に無難な選択をしていたように思います。「安定」して作業を行うことが、計らずも「可能性」を狭めてしまっていたのでは…と。

パンで作業しているメンバーさんにも、失敗をしても原因を知り次回にはその点を注意深く作業を進める方、「難しい」と話しながらも「できません」とは口にせず細かく聞きながら自分のものにしていく方、苦手な作業やこだわりはあるものの自分の得意分野には素晴らしい力を発揮する方、いつでも自分から率先して作業を探し集中して取り組む方、様々な方が取り組み、パンの作業が毎日成り立っています。

もちろん無謀な作業や危険な作業をしてもらうわけではありませんが、自分の中の「色眼鏡をかけていない自分」というものがメンバーさんの世界を狭めてしまわないように、様々なことに共に挑戦して少しずつ共に成長していけるよう毎日を過ごしていきたいと

## イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日は、イオンの「幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。当日は黄色いレシートが発行され、その売上額の1%を登録団体に寄贈していただける制度です。野の花も登録しており、先日、半年分の27400円をいただきました。いただいた基金で



パンの配達の際に使用するカゴと裁縫を行う際に使用するステムアイロンを購入させていただきました。新しい道具に利用者さんも興味を持ち、使い勝手も良くなっているため喜んでくれています。

11日にイオンでお買い物をされる際は、ぜひレシートを野の花のBOXまでよろしくお願いします。

## ご厚志ありがとうございます！！

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン、篠塚昌枝、千田允子、美馬貞子、岡本久二代、山下瑞穂、牛川和典、野田登代子、宮井位月、滝典代

敬称略、順不同

## 就労移行

就労移行利用者Oさんが就職目指して職場実習に再チャレンジしています。(3/4現在)実習先はヤマト運輸香川ベースです。そこには、OBのKさんが既に働いています。Oさんの仕事は、「投入」と言われ、荷物をベルトコンベアに乗せ流していく作業です。その先で配達店ごとに仕分けられていきます。コンベアには流して良い物といけない物があり、それを判断しならの投入になります。近くにいる従業員に聞きながら、一生懸命頑張りました。実習終了後の振り返りで、投入については、丁寧にできており合格点を頂きましたが、スピードアップすること、はっきりとした声で受け答えをすることに課題が残りました。結果、4月1日より3ヶ月間のトライアル(試行)雇用が決まりました。6月末には、正規雇用の可否がまります。ガンバレ!



## 生活介護

生活介護では、2月に「選択外出」を行ないました。①カラオケ②ボウリング③綾川イオンの3つコースの中から選択して頂きました。利用者さんのほとんどが希望のコースに参加でき、とても楽しめていました。

カラオケでは、音楽好きの利用者さんが、ここぞとばかりに自己主張できていました。「この歌は、僕の歌だ!」と言わんばかりに、マイクを持って立ち上がっていました。自分で歌いたい曲を選択し、操作も行なっている利用者さんもいました。



ボウリングでは、普段おとなしい利用者さんのガッツポーズが見られました。投球し終わった後の、腕を振り上げたガッツポーズは、まさしく「進撃の巨人」を思わせるようでした。中には、お母さんよりも良いスコアを出したという利用者さんもいました。



イオンでは、利用者さんがそれぞれ好きなメニューを堪能できたようです。好きなものを美味しく味わう表情は、この上ない幸せを感じていると言っても過言ではないようでした。

## 就労継続B型

3月の開所日には、午前中宇多津ええもん市の見学、午後からは「もえぎの会」の会員さんに



工作「ペーパーフラワー作り」を教えていただきました。宇多津ええもん市は天気も良かったせいか、お客さんもたくさん来ていて賑わっていました。会場では、いろいろな施設のお菓子や手作り作品を手に取り、時にはお菓子を試食したり購入したりと楽しい時間を過ごしました。野の花に帰ってきて、購入したお菓子を広げ自慢そうに職員に見せている利用者さんもいました。

午後からは生活介護の施設で、「ペーパーフラワー作り」に参加しました。キッチンペーパーを三角に小さく折ったり、点をマジックで書いたり、はさみを使ってペーパーを切ったりと苦戦しながらも完成したものは、ひとりひとりの味が出た作品になりました。帰宅する利用者さんの手には、誇らしげにしっかりと作品が握られていたのは言う間でもありません。

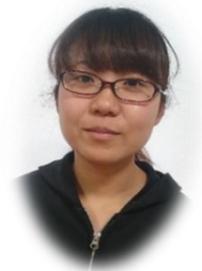


以前は岡山のショートステイで相談員をしていました。苗字が「おさかだ」と珍しく、よく「おさかなさん」や「おたからさん」と呼ばれていました。覚えにくければ「なおこさん」と呼んでください。

私は野の花に来て毎日が楽しいです。利用者さんも同じような気持ちで過ごしてもらえたら嬉しいので、笑顔で頑張ろうと思います。

## 就労継続B型 生活支援員

おくのみゆき  
奥野美幸



はじめまして。3月1日から新しく野の花の皆さんと一緒に、働くことになりました奥野美幸です。以前は、病院で看護師として仕事をしていました。野の花さんでのお仕事は、まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今までの経験を活かして精一杯頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。

## 就労継続B型 生活支援員

おさかだなおこ  
小坂田尚子



新しい職員さんを紹介します

